

■中国：国家能源局、8つの省で石炭火力発電所の建設差し止めを勧告

国家能源局は2019年4月19日、「石炭火力発電所の建設計画に関するリスク警告」（2019－2022）を発表した。同警告は2016年から毎年発表されており、発表年から3年間の石炭火力発電所の建設の妥当性を省ごとに「赤色」、「橙色」、「緑色」の3段階で評価する。今回の発表では、国内の8つの省（黒龍江、吉林、内モンゴ、山東、山西、甘肅、寧夏、新疆）が設備過剰により「赤色」と判定された。政府はこれらの地域に対して、石炭火力発電所の新規建設の認可と着工を停止するよう求めた。